

## 長野県のツキノワグマ目撃及び人身被害の状況

長野県林務部森林づくり推進課

### ツキノワグマの里地での目撃件数の推移

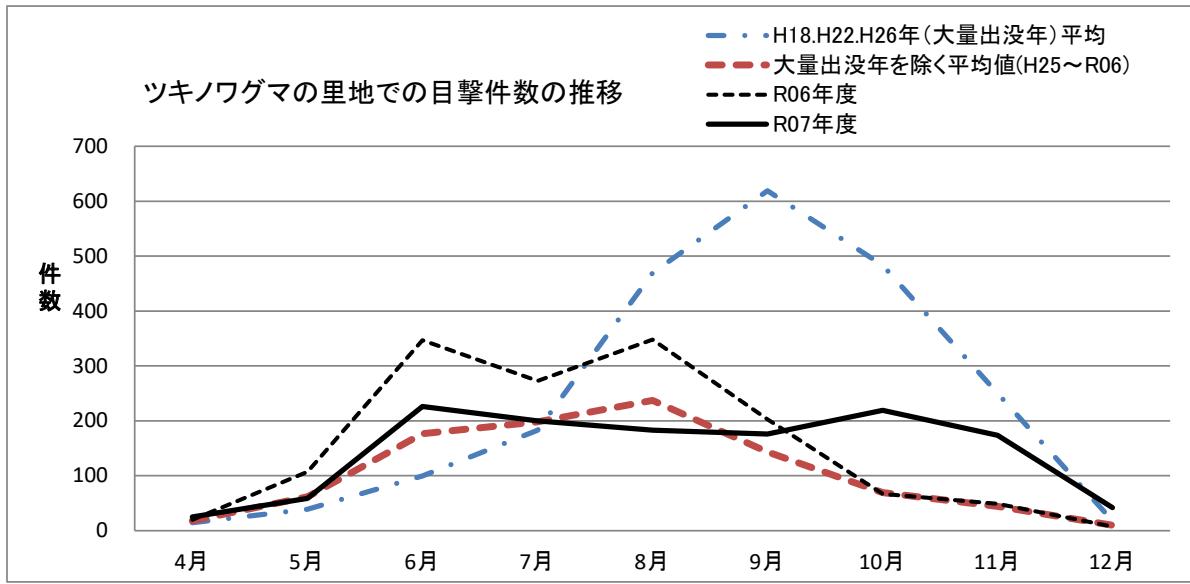
年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月 - 3月	4-3月 計	人身被害 件(人)
H18	22	27	108	252	817	909	751	434	42	-	3,362	16(18)
H22	8	38	112	159	327	535	269	139	4	-	1,591	14(14)
H26	14	52	79	138	263	413	430	177	9	-	1,575	31(32)
R02	16	50	151	264	411	309	126	86	14	10	1,437	12(12)
R03	16	78	210	266	205	116	83	62	20	3	1,059	16(16)
R04	20	56	124	147	211	113	50	26	9	14	770	8(8)
R05	25	68	288	235	275	209	156	117	23	10	1,406	11(12)
R06	20	107	347	273	348	203	67	49	8	8	1,430	12(13)
R07	25	59	226	200	183	176	219	174	42	6	1,310	11(16)

※人身被害は林内での発生も含む。

(1月16日現在の速報値)

網掛けのセルは大量出没年。

凡例	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	4-12月 累計	人身被害 件(人)
H18, H22, H26年 (大量出没年) 平均	15	39	100	183	469	619	483	250	18	2,176	20.3(21.3)
大量出没年を除く平均値(H25～ R06)	18	62	177	198	238	144	69	44	10	960	8.7(9.0)
R06年度	20	107	347	273	348	203	67	49	8	1,422	12(13)
R07年度	25	59	226	200	183	176	219	174	42	1,304	11(16)



・平常年は、山のエサが少なくなり農作物が収穫を迎える8月が目撃件数のピークとなっている。令和5、6年は親子グマや若齢クマを中心に、6月にも増えている。

・大量出没年では、8月から11月にかけて目撃件数が増加し、特に9月、10月が顕著に増加している。堅果類の豊凶の影響が推察される。

地域別の里地での目撃件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月 - 3月	4-3月 計	人身被害 件(人)
佐久地域	1	3	1	3	6	8	1	2	0	0	25	2(3)
上田地域	0	1	14	5	9	2	8	8	4	0	51	1(1)
諏訪地域	1	1	2	1	1	0	3	5	0	0	14	0
上伊那地域	0	7	4	11	24	16	5	6	1	2	76	0
南信州地域	0	0	14	13	25	9	15	15	2	0	93	1(1)
木曽地域	1	18	51	54	37	43	14	9	4	0	231	2(3)
松本地域	2	8	38	24	19	13	11	19	8	1	143	0
北アルプス地域	2	8	65	44	25	46	79	63	5	0	337	1(2)
長野地域	9	8	31	40	24	29	67	30	12	1	251	1(1)
北信地域	9	5	6	5	13	10	16	17	6	2	89	2(4)
計	25	59	226	200	183	176	219	174	42	6	1,310	11(16)

(1月16日現在の速報値)